

父の日は手作りプレゼントで決まり



音がなり響き、涼しく感じられた時間となった。

この日の授業では、父の日のプレゼント作りを行った。風鈴のガラスに色を塗ったり、文字を書いたり、風鈴の音を聞いたり生徒の興味やペースにあわせて授業が進められた。完成した風鈴に生徒が手を伸ばすと「チリンチリン」と音がなり響き、涼しく感じられた時間となった。

この日の授業では、父の日のプレゼント作りを行った。風鈴のガラスに色を塗ったり、文字を書いたり、風鈴の音を聞いたり生徒の興味やペースにあわせて授業が進められた。完成した風鈴に生徒が手を伸ばすと「チリンチリン」と音がなり響き、涼しく感じられた時間となった。



一生懸命に風鈴を作成する生徒

「道徳の日」にちなんだ授業始まる

19日(火)、中学部では「道徳の日」にちなんだ授業が行われた。本校では、毎月19日を「10と9」は「とう」と「く」↓「道徳の日」として位置づけている。今年度は毎月19日に、各部で「道徳の日」にちなんだ授業を行うこととなった。

友達に感謝の言葉を

中学部の今回のテーマは「ありがとう」。何気ない言葉ではあるが、意外と生徒たちは使っていない。「友達に感謝する。お父さんやお母さんに感謝する。そういった気持ちをもっていても、言葉にしないと相手には伝わりません。」授業を担当した教師は生徒たちに語りかけた。授業の中で「○○してくれてありがとう」と生徒同士で伝え合うと、生徒たちからは自然と優しい笑顔が溢れていた。



笑顔で挨拶を交わす生徒たち

校外学習で体験的な活動を

22日(金)に中学部1年生2名が佐世保市少年科学館「星きらり」などに校外学習に出かけた。

プラネタリウムで星座観察をしたり、気体の性質を実験で明らかにしたりすることが目的だ。二人はプラネタリウムの満天の星空を観て「うわあ」と感動と驚きの声を上げたり、水素の燃焼実験を間近で観察する場面では、水素が入ったシャボン玉が破裂する様子に驚いたりしていた。



ノーベル化学賞受賞 下村 脩先生の写真の前
で記念撮影

タクシー配車も自分たちで

今回の校外学習では、タクシーや汽車を移動手段に選んだ。タクシー会社や鉄道会社には、事前に生徒が自分たちで期日や時間、スロープ付の車体が必要であることなどを公衆電話で伝える学習も行うなど、将来の生活を踏まえた体験的な内容も取り入れた。